

平成29年度ヘルパーステーション事業報告（期間:平成29年4月～平成30年3月末）

分類	重点実施項目	実行計画	評価指標	目標値	結果値	実施報告
地域貢献の視点	・市内クリーン作戦	・居宅と合同で年2回のゴミ拾い実施。	実施回数	年2回	年2回	・4月21日旭地区の市役所からみなと銀行辺りまでゴミ拾い実施。 ・11月28日赤坂、向陽台地区のこすもす通りのゴミ拾い実施。 ・いずれも赤のこすもす倶楽部の名前入りのジャンパー着用につき、地域の方の目に留まるように実施。
収支の視点	・訪問件数の維持、増加を図る(主に介護者)。	・各居宅に営業活動。	訪問回数	毎月650回	月平均656回	・毎月の実績配布や担当者会議の際に居宅のケアマネにヘルパーの空き状況を伝えるなどし営業活動実施するも居宅にヘルパーの新規の依頼はなかなかないため、継続した利用にはつながらなかった。 ・今年度は、入院、入所、死去が続き実績がさがった。 ・新規契約17件 終了者25件 ・平均介護度 4月1.31 → 3月1.15
		・パンフレットの配布。				
利用者の視点	・利用者の思いを大切にし住み慣れた自宅や地域で	・各事業所及び地域の方と連携を図り、情報を共有し	利用者件数の維持	70件	月平均62件	・利用者の日々の健康状態と精神状態を把握し担当ヘルパー全員で共有できるよう実施した。 ・利用者の状態をこまめにケアマネに報告実施。 ・担当者会議等で関係機関との情報交換を実施。課題の解決に努力した。 担当者会議出席 年間54件 ・今年度は、逝去、施設入所、入院者が例年より多く、訪問回数、件数ともに大きく目標を下回った。
	安心した生活を送ることができるよう支援する。	サービスを実施する。				
業務プロセスの視点	・利用者ファイルの整備。	・利用者ファイルの整備。	利用者件数	月5件	月4件	・利用者ファイルの整備を実施するも、日々状態が変わっていく利用者もいるためなかなか追いつかなかった。 ・依頼があれば対応できるように研修を行い、体制を整えた。また、従来型のサービスが必要である場合は、従来型のサービスの説明を行った。
	・総合支援事業開始に伴うスムーズな移行。	・利用者の不安に対応できるようにする。				
学習と成長の視点	・外部研修に参加。	・県、西播磨ヘルパー協議会主催の研修会に参加。	参加回数	年間4回	年間4回	・今年度は、県、西播磨のヘルパー協議会主催の研修会の日程と予定が合わず出席回数が目標の年間3回にとどまった。あとの1回は相生市主催の「自立支援について」に出席。 ・ヘルパーミーティングは毎月開催し、その際に時間を設け研修会の実施。今年度は、デイサービスのベットを借り排泄介助(おむつ交換)の研修実施も取り入れた。 ・ミーティングの課題は、法定研修をはじめとして利用者の課題を吸い上げ実施した。
	・研修の充実。	・毎月のヘルパーミーティングの充実。	実施回数	月1回	月1回開催	